

八洲学園大学生涯学習学部

学習ガイド

2011

秋学期（10月）入学者用
（変更点について）

八洲学園大学

「八洲学園大学生涯学習学部 学習ガイド2011」とあわせてご覧ください。

【変更点】

- 3 どのように学ぶのか（1）学生の区分 (p.9)
- 4 本学の資格等取得支援 ～国家資格・科目修得認証等～ (p.21)
- 6 履修モデル (pp.22-27)
- **【司書資格および学芸員資格の科目改正について】**
表4 学芸員資格の新要件適用者の単位読み替えについて（履修上の注意） (p.32)

(1) 学生の区分

学生区分	対象	修業年限・在学年限	学位記:学士(学術)の取得
正科生(1年次)	・本学を卒業することを目的とする方	修業年限:4年 在学年限:12年	取得できる
正科生 (学士取得編入学)	・短期大学等を既に卒業している方で、本学を卒業することを目的とする方	【2年次相当転・編入】 修業年限:3年 在学年限:9年 【3年次相当転・編入】 修業年限:2年 在学年限:6年	取得できる
正科生 (資格・リカレント 編入学)	・各資格の学歴要件等は既に満たしており、本学では各資格取得に必要な科目のみの履修を希望する方 ・大学等をすでに卒業している方で、資格取得や検定試験合格のためなど、本学で多数の科目の履修を希望する方	【2年次相当転・編入】 修業年限:3年 在学年限:9年 【3年次相当転・編入】 修業年限:2年 在学年限:6年	取得できる
科目等履修生	・大学入学資格は有しており、本学の卒業を目的とせず、一部の科目のみの履修を希望する方 ・各国家資格の学歴要件等は既に満たしており、本学では教育訓練給付制度を利用して各国家資格取得を目指す方	在学年限:3年	
特修生	・中学卒業など大学入学資格を有しない方 ※特修生として入学後、本学が指定する20単位のうち16単位を修得し、かつ入学を希望する年の4月1日に満18歳に達していれば、所定の手続きを経て正科生となることができる。	在学年限:3年	正科生の入学資格を取得した後に、正科生として卒業することで取得できる

注：正科生、科目等履修生は上記のほかに、所定の科目の単位を修得することで、本学が付与している各種資格を取得できます。また、所定の科目の修得により税理士の受験資格を、学士の学位の取得により社会保険労務士の受験資格をそれぞれ取得できます。

4. 本学の資格等取得支援 ～国家資格・科目修得認証等～

(3) 科目修得認証

■日本語基礎スキル科目修得認証

2011年度で廃止となります。

履修モデルは、学生が履修計画を立てる際に参考にさせていただくものです。ご自分に合った履修計画を立ててください。

生涯学習学科生涯学習支援系履修モデル

(1) 社会教育主事・図書館司書・博物館学芸員資格を取得する場合

T:テキスト履修 S:スクーリング履修 SS:セミナースクーリング履修 RS:レポートスクーリング履修

☆社会教育主事資格 ★図書館司書資格 ◇博物館学芸員資格

※科目は変更する場合があります。

科目名	資格科目	単位数	履修年次				履修方法
			1年	2年	3年	4年	
<基礎科目>							
情報リテラシー(情報活用から考え方・書き方まで)		2	○				T
文章表現1(文章表現入門)		2	○				S
事象の探求		2		○			S
認識と判断の心理学 (人の認識と判断はいかになされているか)		2		○			S
才能発揮技法		2		○			S
生涯学習論1(生涯における学習設計)	☆★◇	2	○				T
生涯学習論2(生涯学習の支援・推進)	☆	2		○			T
現代社会と生涯学習	☆	2			○		S
生涯学習の方法	☆	2		○			T
生涯学習社会と学習成果の評価	☆	2				○	T
社会教育施設と事業	☆	2			○		T
図書館概論	★	2	○				T
情報化社会と情報の選択 (公共図書館・大学図書館編)	★	2			○		T
図書及び図書館史	★	1			○		T
法学概論		2	○				S
経済学入門		2	○				S
			12単位	10単位	7単位	2単位	計31単位
<専門科目>							
生涯学習政策	☆	2		○			T
生涯学習支援システム・ネットワーク	☆	2		○			S
学習支援情報・学習相談	☆	2			○		T
地域学習支援情報の収集・提供	☆	1				○	T
学習成果の活用と地域学習支援情報の提供	☆	1				○	T
学習相談のためのカウンセリング		2				○	T
生涯学習とキャリア形成	☆	2	○				T
生涯学習学研究法(演習)	☆	2		○			S
生涯学習学新構想(演習)	☆	2			○		S
社会教育計画1(総論)	☆	2	○				T
社会教育計画2(各論)	☆	2		○			T
学社連携・融合論	☆	2		○			T
社会教育調査法1(社会教育調査の技法)	☆	2	○				T
社会教育調査法2(社会教育調査の実際)	☆	2		○			T

科目名	資格科目	単位数	履修年次				履修方法
			1年	2年	3年	4年	
社会教育学研究法(演習)	☆	2				○	S
社会教育学新構想(演習)	☆	2				○	S
児童サービス論 *1	★	1	○				T
図書館サービス論	★	2		○			T
図書館経営論 *1	★	1	○				T
情報サービス概説	★	2	○				T
レファレンスサービス演習 *1	★	1	○				S
情報検索演習 *1	★	1			○		S
図書館資料論	★	2			○		T
専門資料論 *2	★	1	○				T
資料組織概説	★	2		○			T
資料組織演習	★	2			○		S
博物館学(概論)	◇	2	○				T
博物館学(経営論・情報論) *1	◇	2	○				S
博物館学(資料論)	◇	2	○				T
博物館実習	◇	3				○	RS
視聴覚教育メディア論 *1	◇	1	○				T
教育の理論 *1	☆◇	2	○				T
リーダーシップ論		2		○			S
リーダーシップとコーチング		2		○			S
現代マネジメント概論Ⅰ(基礎編)		2	○				S
現代マネジメント概論Ⅱ(応用編)		2		○			S
			23 単位	22 単位	9 単位	11 単位	計 65 単位
＜自由科目＞							
企業倫理(基礎)		2			○		T
企業倫理(応用)		2				○	T
構想力開発論		2				○	S
財政学(国の予算と国民生活)		2			○		T
地域開発・まちづくり論		2				○	T
地方財政(市町村の予算と機能)		2				○	T
現代都市と公共政策		2				○	T
税務と財務諸表		2			○		T
株・保険・投資ファンド論		2			○		T
仕事移動診断総論		2			○		T
仕事移動診断各論(地域社会活動移動)		2				○	T
仕事移動診断技法(地域社会活動移動)		2				○	SS
NPO法人の基礎		2			○		T
キャリア・ディベロップメント		2			○		T
プレゼンテーション・スキル		2			○		S
			0 単位	0 単位	16 単位	14 単位	計 30 単位
			35 単位	32 単位	32 単位	27 単位	計 126 単位

※平成 24 年度から司書資格科目と学芸員資格科目が改定されます。上記の履修モデルは現行の科目で作成しています。28 頁の「司書資格および学芸員資格の科目改正について」を併せてご覧下さい。

*1 平成 24 年度から科目名や単位数が大きく変わる科目です。

*2 現行の資格要件で司書資格を取得するには、この科目を 23 年度中に履修して下さい。

生涯学習学科生涯学習支援系履修モデル
(2) マネジメント能力を持った社会教育主事を目指す場合

☆社会教育主事資格

T:テキスト履修 S:スクーリング履修 SS:セミナースクーリング履修 RS:レポートスクーリング履修

※科目は変更する場合があります。

科目名	資格 科目	単 位 数	履修年次				履修 方法
			1年	2年	3年	4年	
＜基礎科目＞							
生涯学習論1(生涯における学習設計)	☆	2	○				T
生涯学習論2(生涯学習の支援・推進)	☆	2		○			T
現代社会と生涯学習	☆	2	○				S
生涯学習の方法	☆	2		○			T
生涯学習社会と学習成果の評価	☆	2				○	T
社会教育施設と事業	☆	2			○		T
情報リテラシー (情報活用から考え方・書き方まで)		2	○				T
文章表現1(文章表現入門)		2	○				S
情報化社会と情報の選択 (公共図書館・大学図書館編)		2		○			T
万葉と日本人のこころ		2		○			T
法学概論		2	○				S
経済学入門		2	○				S
事象の探求		2			○		S
認識と判断の心理学 (人の認識と判断はいかになされているか)		2	○				S
才能発揮技法		2		○			S
			14 単位	10 単位	4 単位	2 単位	計 30 単位
＜専門科目＞							
生涯学習政策	☆	2		○			T
生涯学習支援システム・ネットワーク	☆	2		○			S
学習支援情報・学習相談	☆	2			○		T
地域学習支援情報の収集・提供	☆	1				○	T
学習成果の活用と地域学習支援情報の提供	☆	1				○	T
学習相談のためのカウンセリング		2				○	T
生涯学習とキャリア形成	☆	2	○				T
生涯学習学研究法(演習)	☆	2			○		S
生涯学習学新構想(演習)	☆	2			○		S
社会教育計画1(総論)	☆	2	○				T
社会教育計画2(各論)	☆	2		○			T
学社連携・融合論	☆	2			○		T
社会教育調査法1(社会教育調査の技法)	☆	2	○				T
社会教育調査法2(社会教育調査の実際)	☆	2		○			T
社会教育学研究法(演習)	☆	2				○	S
社会教育学新構想(演習)	☆	2				○	S
教育の理論	☆	2	○				T
社会教育課題研究1	☆	2				○	T
社会教育課題研究2	☆	2				○	T

科目名	資格科目	単位数	履修年次				履修方法
			1年	2年	3年	4年	
仕事移動診断総論		2	○				T
仕事移動診断各論(地域社会活動移動)		2			○		T
仕事移動診断技法(地域社会活動移動)		2				○	SS
現代マネジメント概論Ⅰ(基礎編)		2	○				S
現代マネジメント概論Ⅱ(応用編)		2		○			S
リーダーシップ論		2		○			S
リーダーシップとコーチング		2		○			S
経営と行動科学		2		○			S
実践マーケティング		2			○		S
キャリア・ディベロップメント		2			○		T
財政学(国の予算と国民生活)		2	○				T
地域開発・まちづくり論		2			○		T
地方財政(市町村の予算と機能)		2			○		T
現代都市と公共政策		2				○	T
NPO法人の基礎		2				○	T
			14 単位	16 単位	18 単位	18 単位	計 66 単位
<自由科目>							
企業倫理(基礎)		2			○		T
企業倫理(応用)		2				○	T
構想力開発論		2				○	S
税務と財務諸表		2			○		T
株・保険・投資ファンド論		2			○		T
日本経済入門		2		○			S
顧客価値創造の経営学		2			○		S
企業経営とコーポレート・ガバナンス		2				○	S
仕事学のすすめ(問題解決と意志決定)		2		○			S
環境資源と人間		2	○				S
特別研究 (学習成果を生かす社会システム研究)		2				○	T
視聴覚教育メディア論		1	○				T
図書及び図書館史		1	○				T
プレゼンテーション・スキル		2		○			S
近代企業家の思想と行動		2			○		S
			4 単位	6 単位	10 単位	8 単位	計 28 単位
			32 単位	32 単位	32 単位	28 単位	計 124 単位

生涯学習学科生涯マネジメント系履修モデル

●税理士 ◎社会保険労務士 ◆ビジネス・キャリア検定 △キャリア・デベロップメント・アドバイザー

T:テキスト履修 S:スクーリング履修 SS:セミナースクーリング履修 G:卒論関係

※科目は変更する場合があります。

科目名	資格 取得 支援	単 位 数	履修年次				履修 方法
			1年	2年	3年	4年	
＜基礎科目＞							
法学概論	●	2	○				S
経済学入門	●	2	○				S
日本経済入門	●	2		○			S
情報リテラシー (情報活用から考え方・書き方まで)		2	○				T
事象の探求		2			○		S
認識と判断の心理学 (人の認識と判断はいかになされているか)		2				○	S
テクノロジーの発達とヒューマニティ		2		○			S
才能発揮技法		2			○		S
生涯学習論1(生涯における学習設計)		2	○				T
生涯学習論2(生涯学習の支援・推進)		2		○			T
現代社会と生涯学習		2				○	S
生涯学習の方法		2		○			T
万葉と日本人のこころ		2	○				T
文章表現1(文章表現入門)		2	○				S
論述カスキル(アカデミック・ライティング)		2			○		S
			12単位	8単位	6単位	4単位	計30単位
＜専門科目＞							
財政学(国の予算と国民生活)	●	2	○				T
地方財政(市町村の予算と機能)	●	2		○			T
現代都市と公共政策		2			○		T
地域開発・まちづくり論		2	○				T
法人税法(総論)	●	2		○			S
法人税法(各論)	●	2		○			S
消費税法	●	2			○		T
相続税法	●	2				○	T
税務と財務諸表	●◆	2			○		T
株・保険・投資ファンド論	●◎	2				○	T
企業(仕事)と法律	◎◆	2			○		S
企業倫理(基礎)		2		○			T
企業倫理(応用)		2			○		T
社会保険労務(入門)	◎◆	2		○			T
社会保険労務(実務)	◎◆ △	2			○		T
生産管理	◎◆	2				○	T
キャリア・ディベロップメント	◆△	2			○		T

科目名	資格 取得 支援	単 位 数	履修年次				履修方法
			1年	2年	3年	4年	
NPO法人の基礎		2	○				T
現代日本企業概論		2		○			S
現代マネジメント概論Ⅰ(基礎編)		2	○				S
現代マネジメント概論Ⅱ(応用編)		2		○			S
経営と行動科学		2		○			S
リーダーシップ論		2	○				S
リーダーシップとコーチング		2		○			S
仕事学のすすめ(問題解決と意思決定)		2	○				S
実践マーケティング	◆	2				○	S
顧客価値創造の経営学		2				○	S
近代企業家の思想と行動		2			○		S
アイデア発見スキル1(語句・文章から)		2	○				S
卒業研究演習		2				○	G
卒業論文		4				○	G
			14単位	18単位	16単位	16単位	計64単位
<自由科目>							
読解カスキル1(実践的読解力)		2	○				S
自己表現カスキル1		2			○		S
自己表現カスキル2		2				○	S
論理的思考1(数学的思考と発想)		2	○				S
企業経営とコーポレート・ガバナンス		2			○		S
プレゼンテーション・スキル		2			○		S
構想力開発論		2			○		S
資源環境と人間		2	○				S
省エネルギー概論		2		○			S
生涯学習社会と学習成果の評価		2		○			T
生涯学習とキャリア形成		2	○				S
仕事移動診断総論		2			○		T
仕事移動診断各論(転職)		2				○	T
仕事移動診断技法(転職)		2				○	SS
特別研究(福祉国家と日米経済)		2				○	T
			8単位	4単位	10単位	8単位	計30単位
			34単位	30単位	32単位	28単位	計124単位

【司書資格および学芸員資格の科目改正について】

(32 ページ)

表4 学芸員資格の新要件適用者の単位読み替えについて
(対象：平成24年度以降にまたがって履修する科目等履修生等)

履修上の注意点

⑤「博物館実習」の履修には、前学期までに他の必要な科目の単位を修得している必要がある（⑥の2科目「教育の理論」および「教育学概論」を除く）。